

作成日：2019年03月18日

改訂日： 年 月 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 KCケーシーホント II_SA (温暖期用 SA-510-2) 主剤
会社名 株式会社クボタケミックス
住 所 (〒556-8601)大阪市浪速区敷津東1-2-47
担当部門 品質保証部 堺品質保証課
電話番号 072(245)8026
FAX番号 072(245)8268
緊急連絡先 担当部門に同じ

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

皮膚感作性: 区分 1

発がん性: 区分 1A

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 1

水生環境有害性(長期間): 区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

漏出物を回収すること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ビスフェノールAエポキシ樹脂	30 - 40	25068-38-6	-
酸化チタン(IV)	< 1	13463-67-7	-
シリカ	1 - 5	非公開	-
無機充填剤	60 - 70	非公開	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV)

GHS分類区分該当有害成分

健康有害性シンボル該当成分

シリカ

環境シンボル該当成分

ビスフェノールAエポキシ樹脂

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂 を使用すること。

6. 漏出時の措置

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m³

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m³ (下気道刺激)

作業環境許容濃度(中国 GBZ 2.1-2007)

(酸化チタン(IV))

PC-TWA: 8mg/m³ (総粉じん)

OSHA-PEL

(酸化チタン(IV))

TWA: 15mg/m³

NIOSH-REL

(酸化チタン(IV))

Ca(ultrafine particles); TWA: 2.4 mg/m³ (fine);

TWA: 0.3 mg/m³ (ultrafine);

See Appendix A; See Appendix C

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：パテ状

色：白色

臭い：微刺激臭

比重/密度: 1.7

溶解度

水に対する溶解度 : 不溶

溶媒に対する溶解度 : ほとんどの溶剤に易溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

混触危険物質

酸、塩基、酸化性物質、強酸化性物質

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)

労働基準法: 疾病化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 刺激性 (CERI/ハザードデータ集 2001-36, 2002 et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 軽度の刺激性 (CERI/ハザードデータ集 2001-36, 2002)

感作性

感作性[厚労省局長通達]

ビスフェノールAエポキシ樹脂

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

cat. 1; DFGOTvol.19, 2003

生殖細胞変異原性

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

発がん性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI/NITE, 2006)

水溶解度

(酸化チタン(IV))

溶けない (ICSC, 2002)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

0.0000041 g/100 ml (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

残留性・分解性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BODによる分解度: 0% (既存点検)

生体蓄積性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BCF <= 42 (Check & Review, Japan)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 3077

正式輸送名 :

環境有害物質、固体、N.O.S.

分類または区分 : 9

容器等級 : III

指針番号: 171

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号 : 3077

正式輸送名 :

環境有害物質、固体、N.O.S.

分類または区分 : 9

容器等級 : III

IATA 航空危険物規則書

国連番号 : 3077
 正式輸送名 :
 環境有害物質、固体、N.O.S.
 分類または区分 : 9
 危険性ラベル : Miscellaneous
 容器等級 : III

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
 海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品
 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
 名称通知危険/有害物
 酸化チタン(IV)

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質
 ビスフェノールAエポキシ樹脂

船舶安全法

有害性物質 分類9

航空法

その他の有害物件 分類9

環境有害性

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

水生環境有害性: 急性区分1 該当物質
 ビスフェノールAエポキシ樹脂
 水生環境有害性: 長期間区分1, 2 該当物質
 ビスフェノールAエポキシ樹脂

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(X類)
 ビスフェノールAエポキシ樹脂
 有害液体物質(Z類)
 酸化チタン(IV)

16. その他の情報

GHS分類区分

皮膚腐食性/刺激性 区分 2:H315 皮膚刺激
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2:H319 強い眼刺激
 皮膚感作性 区分 1:H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 発がん性 区分 1A:H350 発がんのおそれ
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2:H373 長期又は反復ばく露により臓器の障害のおそれ
 水生毒性-急性 区分 1:H400 水生生物に非常に強い毒性
 水生毒性-慢性 区分 1:H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2017 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
Supplier's data/information

責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常を取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

作成日：2019年03月18日

改訂日： 年 月 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 KCケーシーホント II_SA (温暖期用 SA-510-2) 硬化剤
会社名 株式会社クボタケミックス
住 所 (〒556-8601)大阪市浪速区敷津東1-2-47
担当部門 品質保証部 堺品質保証課
電話番号 072(245)8026
FAX番号 072(245)8268
緊急連絡先 担当部門に同じ

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 1

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1

皮膚感作性: 区分 1

生殖細胞変異原性: 区分 2

発がん性: 区分 1A

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(長期間): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。
 保護眼鏡/保護面を着用すること。
 指定された個人用保護具を使用すること。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：
 混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ポリチオール	1 - 10	非公開	-
ポリアミドアミン	10 - 20	非公開	-
2-エチルヘキサン酸	< 1	149-57-5	1-051
シリカ	40 - 50	非公開	-
無機充填剤	20 - 30	非公開	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

2-エチルヘキサン酸, シリカ

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

2-エチルヘキサン酸, シリカ

GHS分類区分該当有害成分

2-エチルヘキサン酸

健康有害性シンボル該当成分

2-エチルヘキサン酸, シリカ

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂 を使用すること。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

国際/国/地方の規則に従って保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(シリカ)

日本産衛学会(2006) (吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m³

(シリカ)

ACGIH(2009) TWA: 0.025mg/m³(R) (肺繊維症; 肺がん)

(2-エチルヘキサノ酸)

ACGIH(2006) TWA: 5mg/m³(IFV) (変異影響)

作業環境許容濃度(中国 GBZ 2.1-2007)

(シリカ)

PC-TWA: 1mg/m³ (総粉じん), 0.7mg/m³ (吸引性粉じん) (10%≤free SiO₂≤50%);

PC-TWA: 0.7mg/m³ (総粉じん), 0.3mg/m³ (吸引性粉じん) (50%≤free SiO₂≤80%);

PC-TWA: 0.5mg/m³ (総粉じん), 0.2mg/m³ (吸引性粉じん) (free SiO₂ > 80%);

(IARC G1(結晶性のSiO₂))

OSHA-PEL

(シリカ)

TWA: (250/(%SiO₂+5))mppcf,

(10mg/m³/(%SiO₂+2))mg/m³ (Respirable)

(30mg/m³/(%SiO₂+2))mg/m³ (Total Dust)

NIOSH-REL

(シリカ)

Ca; TWA: 0.05mg/m³; See Appendix A

ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状 : パテ状

色 : 黒灰色

臭い : メルカプタン臭

比重/密度: 1.7

溶解度

水に対する溶解度 : 不溶

溶媒に対する溶解度 : ほとんどの溶剤に易溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

混触危険物質

酸、塩基、酸化性物質、還元性物質

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]
(2-エチルヘキサン酸)
rat LD50=2043mg/kg (IUCLID, 2000)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]
(2-エチルヘキサン酸)
rabbit LD50=1140mg/kg (ACGIH, 2001)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]
(2-エチルヘキサン酸)
ラビット 腐食性 (IUCLID, 2000)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]
(2-エチルヘキサン酸)
ラビット (ACGIH 7th, 2001)

生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]
(シリカ)
cat. 2; SIDS, 2013

発がん性

[日本公表根拠データ]
(シリカ)
cat.1A; IARC Gr. 1 (IARC 100C, 2012 et al.)
(シリカ)
IARC-Gr.1 : ヒトに対して発がん性がある
(シリカ)
ACGIH-A2(2009) : ヒト発がん性の疑いがある
(シリカ)
日本産衛学会-1 : 人に発がん性があると判断できる物質

生殖毒性

[日本公表根拠データ]
(2-エチルヘキサン酸)
cat. 1B; rat : ACGIH 7th, 2001

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]
[日本公表根拠データ]
(シリカ)
呼吸器、免疫系、腎臓 (SIDS, 2013)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(シリカ)

甲殻類 (オオミジンコ) LL50 > 10000mg/L (SIDS, 2013)

(2-エチルヘキサン酸)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=85.4mg/L/48hr (IUCLID, 2000)

水溶解度

(シリカ)

溶けない (ICSC, 2010)

(2-エチルヘキサン酸)

0.14 g/100 ml (ICSC, 2005)

生体蓄積性

(2-エチルヘキサン酸)

log Pow=2.64 (PHYSPROP DB, 2005)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : NA

指針番号: 171

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

2-エチルヘキサン酸; シリカ

名称通知危険/有害物

2-エチルヘキサン酸; シリカ

消防法に該当しない。

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

2-エチルヘキサン酸

環境有害性

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

発がん性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

シリカ

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

2-エチルヘキサン酸

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

シリカ

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害でない物質(OS類)

シリカ

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制を遵守してください。

16. その他の情報

GHS分類区分

皮膚腐食性/刺激性 区分 1:H314 重篤な薬傷・眼の損傷

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1:H318 重篤な眼の損傷

皮膚感作性 区分 1:H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

生殖細胞変異原性 区分 2:H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

発がん性 区分 1A:H350 発がんのおそれ

生殖毒性 区分 1B:H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1:H372 長期又は反復ばく露により臓器の障害

水生毒性-急性 区分 3:H402 水生生物に有害

水生毒性-慢性 区分 3:H412 長期継続的影響により水生生物に有害

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全に満足できるものとする責任はユーザーにあります。

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について、何も責任を取ることはできません。全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。